

令和7年度 横浜修悠館高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (公務外非行)	公務外であれ教育公務員としての自覚を忘れず、県民からの信頼を損なわない。	○不祥事防止職員啓発・点検資料等を活用し、職場内研修を実施し、教育公務員としての自覚を促すことで不祥事防止に努めた。 ○風通しの良い職場環境を目指し、職員間のコミュニケーションを図ることで不祥事の未然防止に努めた。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、 マタハラ等)の防止	人権意識を高め、職場における不適切な言動を排除し、各種ハラスメントを防止する。	○人権研修会を行い、人権意識を高めることでハラスメントに関する知識を理解し、意識向上を図った。 ○ハラスメントを意識し、他者への言動を気にしながらコミュニケーションをとることで、不適切な言動を排除することができた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の根絶をする。	○教職員と生徒間のわいせつ・セクハラ行為の防止のため、コミュニケーションを図りながらも、一定の距離を保ちながら生徒支援を行った。 ○教職員が生徒に個人対応するのではなく、複数対応することでわいせつ・セクハラ行為を根絶させた。
体罰、不適切な指導の防止 (パワー・ハラスメント、人権に配慮した発言も含む)	体罰やパワー・ハラスメントの防止と適切な生徒指導に努める。	○不祥事防止研修において、不祥事防止職員啓発・点検資料等を活用し、体罰に関する学校教育法からの理解を行い、感情的な言動を控えることを徹底させた。 ○生徒に対して複数対応することで、体罰・不適切な指導を未然防止することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成および送付にかかわる事故を絶対に起こさない。	○入学者選抜において、本校を受検する多様な生徒に対応するために中学校との連携、入学者選抜業務での複数の確認を全職員で行い、事故防止に努めた。 ○進路関係書類等において、チェック体制の強化等、次年度に向けてより強固な体制を整えることとした。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努める。	○補助記憶装置の貸出においては、帳簿をつけることで校外に持ち出すことなく処理することができた。 ○個人情報は、決められたフォルダやキャビネットに格納することで流出防止に努めた。
経理処理(公費・私費・現金管理)	適切で公正な予算編成と執行に努める。	○予算編成において、公費・私費の使い分けを明確に行い、適切な執行に努めた。 ○財務事務調査等の指摘事項に関して、適切に処理し、次年度に向けて確実な引継ぎを行った。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

特に生徒に対する支援や指導は、適切で配慮のある体制を構築できている。令和7年度においても体罰や不適切な指導ゼロが達成できた。職員間の日頃のコミュニケーションを大切にして、風通しの良い職場づくりの意識を引き続き持ち、お互いが注意しながら業務を遂行することが求められると考えている。

通信制における特徴ある業務が多くあるため、職員の不祥事防止意識を今後も高めて業務執行体制のチェックやマニュアルの見直し等を行い、不祥事ゼロに取り組んでいく。